

年度 2007 学期 後期	曜日・校時	火 3 / 火 4	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅳ ChineseⅣ					
対象年次	2 年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	火 3: 2 T二、	火 4: 2 T四	科目分類	外国語科目(中国語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー	担当教員: 陳 振華 / Eメールアドレス: chzh@hotmail.com / 研究室: 非常勤講師控室 / オフィスアワー: 16:00~18:00					
担当教員(オムニバス科目等)						
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 中国語の単語や文法などを更に習得するほかに、中国語の複合文や助動詞の使い方など習得し、少し難しい中国語が読める、また、中国語の日常生活についての会話を流暢に出来るレベルに達する。</p> <p>授業方法: テキストでは新出単語と補充語句の日本語の解釈が印刷されていないので、授業前に学生はみんな必ず辞書を引かなければならない、日本語の解釈を調べるほか、またその単語と語句を暗記し、また文法と本文も予習する必要がある。語学の勉強には文法を理解する以外、主に実際のトレーニングをする、従って、この授業は習った語句、文法を活用できるように、その場で中国語を作文させ、本文を繰り返して朗読する上で、本文を暗誦してもらおう。習った語句、文法を用いて、学生に中国語で日常会話をさせる。中国語の語学力を固めるために、時々小テストを行い、宿題もやってもらおう。</p> <p>授業到達目標: この授業を通して、中国語の話す、聞く、書く、読むなどの総合的な中国語の基本語学力を養成し、中国語中級又は中国語検定試験の「四級」水準に達する。</p>						
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>前期と同じテキストなので、テキストの会話文を学習することによって、複合文「除了……以外、……、有时……有时……、如果……、一……就……」など勉強して、基本的な複合文を身につけるようにする。また助動詞、比較を表す前置詞「比」などを習って、中国語の会話練習を更に増え、強化し、基本的な中国語を自由に使えるようにする。</p> <p>第1回 第七課 (電話)プリペイドカードの購入 ポイント: ……还是……、 助動詞の“要”、 助動詞の“得”、 有时……有时……、</p> <p>第2回 第七課 (電話)プリペイドカードの購入 本文、 練習コーナー</p> <p>第3回 第八課 食事 ポイント: “疑問詞+都”、 “除了……以外、……”、 “既然……就……”、 助動詞の“应该”</p> <p>第4回 第八課 食事 本文、 練習コーナー</p> <p>第5回 第九課 カラオケに行く ポイント: 持続の、 比較の“比”、 副詞“肯定”、 数量がすくない、 程度が低いことを表す“才”</p> <p>第6回 第九課 カラオケに行く 本文、 練習コーナー</p> <p>第7回 復習</p> <p>第8回 第十課 タクシーの中 ポイント: 副詞“光”、 仮定を表す“如果……、……”、 可能補語“用不了”、 “一……、就……”</p> <p>第9回 第十課 タクシーの中 本文、 練習コーナー</p> <p>第10回 第十一課 ショッピングセンターにて ポイント: 結果補語の否定“没想到”、 副詞“从来”、 “越……越……”、 “把……当……”</p> <p>第11回 第十一課 ショッピングセンターにて 本文、 練習コーナー</p> <p>第12回 第十二課 誕生日を祝う ポイント: 前置詞“给”、 前置詞“对”、 条件を表す“才”</p> <p>第13回 第十二課</p> <p>第14回 復習</p> <p>第15回 定期試験</p>						
“着” キーワード						
教科書・教材・参考書	『中国語へのアプローチⅡ』 初級～中級編 楊 凱栄 張 麗群著 (朝日出版社)					
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況と平素の学習態度 25%、宿題と小テスト 25%、定期試験 50%					
受講要件(履修条件)	履修上の注意: 単位が成立されるのは定期試験、宿題と小テストの成績の次第だけではない、出席も見るので、無断欠席しないでください。					
本科目の位置づけ / 学習・教育目標						
備考(準備学習等)						

2430267